

西暦	名前	系統	事績
1480頃	久野弥兵衛	?	瀬戸金華山窯で焼いた茶入れの金華山手（きんかざんで）が有名。これは祖父の三代藤四郎の作とも、弥兵衛の子の弥二郎の作とも言われている。
1492～1501頃	久野（久能）佐渡守藤原宗隆	遠州	遠江久野城主。
1500頃	久野越中守	遠州？	曳馬（浜松）城主。
1555頃	久野十太郎	鳴海	織田信長家臣。
1557	久野二郎左衛門尉保清	鳴海	名古屋成海神社神主。今川義元より所領を安堵される。
1560頃	久野伊賀守宗憲	遠州	遠江久野城主。
1569	久野八右衛門宗明（宗秋）	遠州	宗能父。永禄騒動を主動。
～1560	久野三郎太郎元宗	遠州	宗明長男。今川義元の近臣。桶狭間の合戦で討死。
1527～1609	久野（久能）三郎左衛門宗能	遠州	宗明次男。遠江久野城主。徳川家康に仕える。
1560頃	久能半内宗衡	遠州	駿河江尻城主。遠江久野城主・久野宗理次男。久能家の義子。
1560頃	久能武蔵守賢治	駿河？	肥前の有馬義貞に仕える。
1560頃	久野孫右衛門之永	駿河	今川義元に仕え、尾張大野城代家老。
～1560	久能（久野）半内氏忠	駿河	今川義元の甥。桶狭間の合戦で討死。
～1560	久野三郎四郎宗経	遠州	遠江久野城主。桶狭間の合戦で討死。
～1568	久野淡路守宗益	遠州	遠江久野城主。徳川方に不意討ちされる。
～1568	久野又兵衛宗繁	遠州	小柳津城主。また駿河江尻城代。
1568	久野千菊丸	遠州	宗能子。徳川方の人質となり三河に住す。
1573	久野采女宗当	遠州	今川義元および武田信玄に仕え
1573	久野寛之助宗勝	遠州	同上
～1594	久野清兵衛采邑	駿河	加木屋久野家初代。
1554～1596	久野民部少輔宗朝	遠州	徳川家康の伊賀越えに従う。三宅正次との私闘で相果てる。